

科目ナンバリング		U-LAS24 10003 SJ48											
授業科目名 <英訳>		ロシア語 I B（文法） R1101,R1102 Primary Russian B					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 堀口 大樹				
群	外国語科目群				分野(分類)					使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	火5/木3			配当学年	全回生		対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]													
ロシア語の初級文法を学習し、キリル文字の読み方や発音の基礎、初歩的な文法事項を身につける。指定した教科書に沿って授業を進めるほか、補足資料を随時配布する。 またロシア語を学ぶことで、ロシアやロシア語圏の文化、社会、歴史に関する基本的知識も得る。													
[到達目標]													
ロシア語のしくみを理解し、ロシア語の基本的な語彙と、バランスの取れた4技能（読む、書く、聞く、話す）の基礎を身につける。またロシア語の基礎を学ぶことで、ロシアの文化や社会に関する基本的な知識を持ち、自分なりのロシア観や、ロシアを考慮に入れた世界情勢を把握する視点を 得る。													
[授業計画と内容]													
教科書に沿って以下の項目を学ぶ。													
1. 文法総復習 2. 文法総復習 3. 第5課（未来形、造格） 4. 第5課（与格） 5. 第5課（数の表現） 6. 第6課（移動動詞） 7. 第6課（移動表現の前置詞） 8. 第6課（動詞の接頭辞） 9. 第7課（無人称述語） 10. 第7課（命令形） 11. 第7課（まとめ） 12. 第8課（比較級） 13. 第8課（関係代名詞） 14. 第8課（最上級、年号の表現） 《期末テスト》 15. フィードバック													
各項目について1-2回の授業を使って説明する。 授業は14回、期末試験、フィードバック1回とする。													
教科書の説明のほか、練習問題を使って文法事項を定着させる。また発音は極めて重要であるので、教科書の例文などの音読を積極的に行うほか、ロシア語の歌を歌って（音痴でも全く問題なし！）ロシア語の発音に慣れる。 ロシアの文化や社会に触れるため、視聴覚資料も使う。													
-----ロシア語 I B（文法） R1101,R1102(2)へ続く↓↓↓													

ロシア語ⅠB（文法） R1101,R1102(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

平常点（50％）：授業を受ける姿勢、課題への取り組み、小テスト

期末試験（50％）

[教科書]

青島陽子、シュラトフ・ヤロスラブ、中野悠希 『ロシア語の世界へ！－初心者の旅－』（朝日出版社）

[参考書等]

（参考書）

辞書については授業時に紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

予習よりも復習に力を入れ、授業で習った文法事項や単語・表現を自分のものにするよう努めること。

語学の上達は、授業プラス授業外で日々どれだけその言語に触れているかにかかっている。授業以外にも、インターネットなどでロシア語の音楽やラジオを聴いたり、動画を見たり、ロシア語で書かれたサイトを覗いてみたり（もちろん全部わからなくても大丈夫）、ロシア人留学生と交流するなど、積極的にロシア語に触れてもらう。

またロシアやロシア語圏の文化や社会に対して、常にアンテナを張っていてほしい。

[その他（オフィスアワー等）]